

目次

法文化学会第4回研究大会・総会を終えて.....	1
法文化学会第5回研究大会について.....	2
叢書『法文化 歴史・比較・情報』.....	2
叢書第3巻の発刊について.....	2
叢書第4巻の企画募集について.....	3
叢書第3巻『法文化としての租税』原稿募集のご案内.....	3
事務局からのお知らせ.....	3
監事再任の件.....	3
2000年度会計報告.....	3
年会費納入のお願い.....	4
入会の申込について.....	4
法文化学会入会申込書.....	5

法文化学会第4回研究大会・総会を終えて

法文化学会事務局 岩谷十郎（慶應義塾大学）

2001年11月25日、法文化学会第4回研究大会が、一橋大学佐野書院にて開催されました。

当日は、理事長・森征一会員（慶應義塾大学）の開会宣言、研究大会当番校である一橋大学の山内進会員による開会の挨拶に引き続き、清水裕樹会員（慶應義塾大学大学院）による「『犯罪学の父』ロンブローゾの語った『我が学派』とは何か？」、山下裕子氏（一橋大学）による「制度としての市場と組織：場という概念から捉えなおす」、北構太郎氏（札幌大学）による「市場のインパクト

と「法文化」的戦略：PNGの賠償を素材として」、林康史氏（大和証券、一橋大学非常勤講師）による「金融・証券市場におけるヒューマン・ファクター～行動経済学の金融法制度再考のために」、田中実氏（南山大学法学部教授）による「人文主義法学のローマ法文解釈と市場原理 Interest and quod interest (damages)」、の合計5本の報告がありました。学会叢書、『法文化 歴史・比較・情報』第2巻で特集として取り上げた「市場の法文化」をテーマに据え、多角的な視

点からの報告と活発な意見交換が為され、盛会のうちに終わりました。

午前中の報告後の総会では、事務局から昨年度の学会活動報告、ならびに会計報告などが為され、同時に叢書『法文化 歴史・比較・情報』第2巻・第3巻の編集の件(ニュースレター本

号後掲)、学会費(同前)などについての提案が出され、いずれも承認されました。

夕刻は、会場の佐野書院内にて懇親会が開かれ、報告者を囲んだうち解けた雰囲気の中で、各々の近況報告が披露され、和やかな歓談の時間を過ごしました。

法文化学会第5回研究大会について

第5回研究大会を以下の要領で行います。報告を希望される方は、5月末日までに、学会事務局(慶應義塾大学法学部、岩谷十郎)までご連絡ください。テーマにつきましては、叢書第3巻編集についての下記の趣旨説明をごらんください。また、自由報告も予定しておりますので、テーマ以外の題目で報告を希望される方も歓迎いたします。

なお、報告希望者多数の場合は、学会事務局と大会開催校とで相談のうえ、報告者を決めさせていただきますので、予めご承知おきください。

1. 日程: 2002年11月16日(土)
2. 会場: 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス内
3. テーマ: 法文化としての租税

事務局からのお願い ご報告をご希望される方は、法文化学会事務局まで、氏名・ご所属・連絡先・ご報告の題目(仮題でもかまいません。またテーマ報告か自由報告かの別をもお知らせ下さいましたら幸いです)をご明記の上、5月末日までに以下のいずれかの要領でお送り下さい。なお、研究大会についてのお問い合わせも以下にてお受けいたしております。

・郵便: 〒108-8345

東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学法学部内 法文化学会

・FAX: 03-5427-1578 慶應義塾大学法学部内 法文化学会

・E-mail: juro@law.keio.ac.jp

* ご報告を希望された方には、9月下旬頃に会員連絡用のご報告要旨のご提出をお願い申し上げます。これにつきましては、後日、事務局よりご連絡させていただきます。

叢書『法文化 歴史・比較・情報』

叢書第3巻の発刊について
叢書編集委員会では、2002年3月7日(木)の

会合におきまして、叢書第3巻の表題を「法文化としての租税」とし、森征一会員(慶應義塾大学)

を編者として作業を進めることに決定しました。

執筆を希望される会員は、編者の趣旨説明をお読みの上、5月末日までに学会事務局(慶應義塾大学法学部、岩谷十郎)に題目(仮題で結構です)をつけたうえで、お申し込みください。なお、採否は編者ととも編集委員会が行うことに

なっておりますので、その点はお含みおきください。

叢書第4巻の企画募集について
第4巻のテーマを募集します。会員の意見を学会事務局までお伝えください。

叢書第3巻『法文化としての租税』原稿募集のご案内

法文化学会叢書編集委員長 山内進(一橋大学)

租税は「国家の神経である」(キケロ)といわれます。およそ権力と呼ばれうるものが存在する社会では、ありとあらゆる類の取り立てが権力によって行われてきました。しかし、その在り方や考え方、取り立て方や納入方法あるいは忌避の方法は時代や地域によって種々雑多だったと思われま

す。17世紀ヨーロッパで活躍した、ドイツ財政学の先駆者カスパー・クロックは、「租税は公平で、正しくかつ一様でなければならない」と主張し、近代的税制の基礎を築きましたが、ヨーロッパにおいても、このような思想は必ずしも常識だったわけではありません。租税は、奪うものと奪われるものが直接結び合い、虚々実々の関係を結ぶ接点です。生活に深く関わっているという切実さにおいて、文化的特性をとりわけ示します。それゆえ、グローバリゼーションのなかで大きく変容しつつある、現代の国内・国際社会においても、租税の問題は緊要の課題となっています。

このような現代的状況を踏まえて、『法文化としての租税』では、租税を広い視野から捉え直し、様々な切り口から多角的に検討することを目指しています。会員各位の投稿を期待します。

1. 原稿申し込み締切日: 2002年5月末日
2. 原稿提出締切日: 2003年2月末日(締切日厳守)
3. 刊行予定: 2003年5月
4. 原稿枚数: 200字詰め原稿用紙で100枚以内

事務局からのお知らせ

監事再任の件

昨年の研究大会総会において、白川和雄(東洋大学)、萩原金美(神奈川大学)の両氏の監事任期満了に伴い、次期監事を引き続き両氏にお任せすることが承認されました。

2000年度会計報告

2000年度の会計(2000年9月1日～2001年8月31日)につきましては、白川和雄先生に監査を行っていただき、先日の総会にて承認されました。

2000年度 収支

総収入	388,000
総支出	46,483
次年度繰越金	341,517

2000年度 収入内訳

年会費	138,000
繰越金	250,000
計	388,000

2000年度 支出内訳

郵送費	26,740
文具代	4,493
コピー代	11,260
印章代	3,990
計	46,483

年会費納入のお願い

学会員各位におかれましては、2001年度(01年9月1日～02年8月31日)の会費(5000円)の納入をお願いいたしたく存じます。

昨秋の研究大会総会におきまして、学会費

を5000円に値上げすることが了承されました(現行3000円)。学会費には、叢書『法文化 - 歴史・比較・情報』の購読料3000円が含まれております(なお、同叢書第1巻は、理事会の決定により学会員には無料で頒布されました)。

同封致しました郵便振替にてお支払い下さい。ご不明の方は事務局までご照会下さい。

郵便振替口座番号:00130-4-659540

口座名義:法文化学会

入会の申込について

前号のニューズレターより、法文化学会入会書式を最終頁に掲載してあります。入会を希望される方に複写してお渡しいただければ幸いです。入会資格者は、大学院の修士課程在籍者を含みます。所要事項を書き込まれましたら、事務局まで郵送下さい(入会には理事会の承認が必要です)。

法文化学会入会申込書

法文化学会 御中

年 月 日

私は法文化学会の規約を承認し、下記の会員の推薦をもって、貴会への入会を申込みます。

ふ り が な
氏 名

生 年 月 日 年 月 日

現 住 所 〒

Tel :

Fax :

Mail :

所属・地位

所属先住所 〒

Tel :

Fax :

Mail :

専 攻

最 終 学 歴 (卒業年次)

研 究 業 績 (主要なものを記して下さい。研究業績の無い場合には、従来の研究上の関心、今後の計画について記して下さい。)

学会よりの郵送・連絡先にどちらを希望されますか。(現住所 ・ 所属先住所)

学会名簿には、氏名・生年・現住所及びTel/Fax/Mail・所属・地位・現住所及びTel/Fax/Mail・専攻が記載されます。この内特に記載を希望されない事項のある方はお書き下さい。

()

同氏の法文化学会への入会を推薦いたします。

氏名 _____ 印